

ゆずの風新聞

菜の花畑

令和4年
春号
発行
馬路村農協



農協HP
はこちら

86歳
すみちゃんの
バイリンガル
コーナー



村特有の
バイリンガル用語が
たくさんあります。
あなたは
わかるかな？

Q) ちうばえる

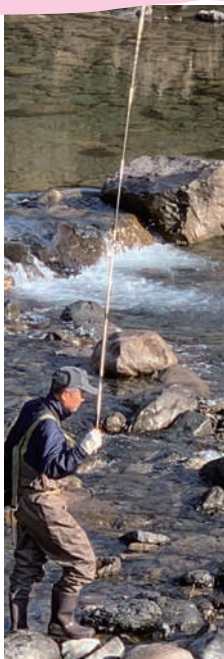
例) 食事会も終わりにさしかかった頃の会話
勝ちゃん:「おい! その料理は俺が全部さうばえちやうき持つてこい」
鉄ちゃん:「そりゃあよかった、どつしようかと思ひよった。助かる」
さて「さうばえる」とはどういう意味?

※答えは裏面に

おまじ解禁

春の風物詩であるアメゴ漁が3月1日に解禁になりました。ですが解禁日は生憎の小雨。天気悪いから誰もいないかなと思いつつ川を覗くと...いました。たとえ雨でも村民は気合いで釣りをします。

釣果はどうですか? 釣り人は「これくらいのか釣れん」と親指と小指を広げ苦笑い。
今後のあめごの成長に期待です。



幼馬染みが 一年生

保育園の帰りの会で、みんなの前に並び他の子ども達に元気に挨拶をするのはオウ君とサトちゃん。2人はこの春、馬路保育園から卒業し、小学生になります。素直で元気いっぱいな2人の姿に村の大人たちも元気をもらいます。これから、初めてのことがいっぱい小学校生活を村の皆が見守ります。



ゆずの森を遊ぼう

農協がつくった「ゆずの森」。ごつくん工場や直売所の周りの雑木園は、村の子ども達にとって格好の遊び場となっており、雑木の合間をぬって鬼ごっこやケイドロをしたり、ルートを決めて障害物を乗り越えたり。

おんちゃんが切り出して無造作に積んでいた丸太も、早速子ども達の遊具として活躍していました。遊具らしい遊具はないけれど、有るものを遊具にして遊ぶ姿に、子ども達のたくましさを感じました。

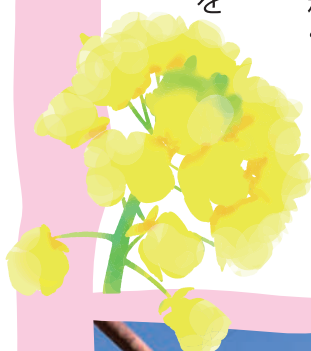


リキヤーミが 出来るぞやー

ついに、馬路村でお酒が作られます。商品名は「ゆずの村酒造」。酒造という名のお酒です。おいしいゆずのお酒が飲みたい、という村のおんちゃんの強い思いから酒類の製造許可もとり、開発に至りました。

原材料はゆず果汁とはちみつとアルコールと水だけ。ごつくん馬路村ほど甘くなく大人のごつくん馬路村に仕上がりそうです。

この「ゆずの村酒造」はもうまもなく発売予定です。



春はかけ足、いつの間にか段畑が一面黄色く色づいていました。秋はゆずで、春は菜の花で。春も秋も黄色く輝く段畑は馬路に季節の移ろいを教えてくれます。



ゆずの剪定

寒い季節をじつと耐えていたゆずの木は、春になるとまた成長をはじめます。どのような成長をさせるかは、この時期の剪定が非常に重要。風通しや木の奥まで陽が届くかなど、「えい柚子」が実るよう、一枝一枝剪定していきます。今から秋の収穫に向けた畑作業がはじまっています。



群生天然ワサビ

水資源の豊富な馬路村にはいくつかのわき水があります。その中でも村内一と評判の「朝日出山のわき水」は周辺にワサビが自生する天然ワサビ水系です。谷川に沿って生えているワサビは、そうと知らなければ雑草と見間違える勢いでみっちり茂っていました。とは言っても有るだけ採っていれば無くなるのは必然。貴重な天然ワサビが途絶えぬよう村人はワサビの根っこを残し、普段は葉っぱを頂戴する程度にとどめていきます。その甲斐あってか今ではワサビの生い茂る立派な群生地で足の踏み場もなくなりました。秘密のワサビ谷は村人たちの宝物です。



梅まつり馬路道

梅まつり物語



スーパーマルナカは馬路村から20km以上離れたところにあり、車で行くのに片道35分ほどかかります。車だとちょっと良いドライブコースですね。『車だ』と…

というのも、少し前に車を修理に預けないといけない事がありまして、迎えた週末、食料もないが代車もない。意を決して買い物のためだけに20km以上離れたスーパーマルナカへ自転車を走らせることになりました。普段何気なく通り過ぎていた平瀬隧道やエヤ隧道跡を見る事ができ、行きの下り道では「たまにはこういうのも悪くないな」などと考えていました。

ですが問題は帰り道。馬路村へ伸びるクネクネ道を立ち漕ぎで漕いでも全然スピードが出ません。それもそのはず傾斜がなにより見える道でも僅かに登り道になっていて、馬路村までずっと坂道が続いています。背中のリュックとハンドルには買い物袋。折り畳み自転車なので買い物袋を引つけた状態のハンドル操作も難しい。14時頃にマルナカを出たのに周囲が暗くなり始め、焦ります。

夕方18時30分、ようやく村に帰る事ができました。朝10時30分にでて帰ってきたのが18時30分。その日1日を買い物のためにだけに費やしました。行きは良い良い帰りは何とやら…

自伐型林業?

夢は大きい、ミニマムな取り組みで。

みなさん知っての通り、馬路村の森林率は96%。村のほとんどが森林にあたります。そして、そのうち76%は国有林で残りは民有林となり、大部分を国有林が占めています。馬路村はかつて林業で栄えた村でしたが、今では儲けにならない山には手が入らず、山の管理が行き届いていない現状があります。こんなに有り余る自然を人の手が入らないままにするのはもったいないと、現在農協・林材加工協同組合・エコアス・役場が集まり、小さな林業と呼ばれる自伐型林業の幹旋をしようとしています。「基盤はできて人もが集まらないのでは…」もつと自伐型のうまい仕組みを…まだまだ先は長くなりそうですが、将来に向けてゆず農家と兼業で林業ができる環境をコツコツと作っていききたいですね。



花見台

「トントン、トントン」金槌のリズムが聞こえてきます。ゆずの森工場の敷地内の川べりに、この度花見台が完成しました。初代が10年以上経って老朽化していたため、修繕も兼ねて屋根つきで村の大人さんたちが作ってくれました。桜並木の間に作られた花見台に、桜の満開を待ち望むおんちゃん、そわそわ様子見する姿がよく見られます。



なんでもハガキ

ご注文とか、おーの嬉しいとか、もっと頑張れとか、なんでも使えるハガキです。

馬路村のぼん酢が大好きで、冷蔵庫に常備しておきます。今回初めて馬路村アンテナショップに伺い、Yuzu glassesに出会いました。美味しくて、すぐお家で購入しました。たくさん入っているサイズも販売して欲しいです。ゆずの森工場の「ゆずの森」に行きたいです。

①以下の資料をご希望の方は(○)を付けてください
ゆず製品のパンフレット
馬路村のパンフレット
馬路村温泉のパンフレット

なんでもハガキ

ご注文とか、おーの嬉しいとか、もっと頑張れとか、なんでも使えるハガキです。

友人がプレゼントに、セットを贈ってくれました。私が家の食卓にいつもあった馬路村商品に、懐かしさと友人のあたたかさを感じて、元気をもらいました。コロナが落ち着いたら、私もあそびに行きたいです。

①以下の資料をご希望の方は(○)を付けてください
ゆず製品のパンフレット
馬路村のパンフレット
馬路村温泉のパンフレット

おたかコーナー

おーの嬉しいとか、もっと頑張れとか、なんでも使えるハガキです。

森を元気にする会社
エコアス馬路村



http://www.ecoasu.co.jp/

馬路温泉

つるつるのお湯でゆったり食事、宿泊もできます。
電話番号
0887-144-2026
予約専用フリーダイヤル
0120-144-2026



馬路温泉 HP

すみちゃんのバレンタイン



「残さずかき集めること」
「さらばえる」
今回の「さらばえる」とは、残りの料理を全て平らげることを行います。

編集後記

日に日に暖かくなり春へと移り変わっている馬路村では、梅が咲き、菜の花が風に揺れています。ということば、そう、花粉の季節です。ご存知の方もいるでしょう、馬路の山はほとんどが杉であり、3月にもなると花粉症持ちの村民は涙目となるのです。かくいう私もその一人。取材で村内を回るのに心地よい気候ではありませんが、覚悟をもって出かけなければなりません。最近よく聞く「テレワーク」という言葉、村で聞ける日はくるのでしょうか。この時期だけはテレワークを羨ましく思う今日この頃です。